

## 令和6年度 第2回議会報告会 まとめ

1. 開催日等 令和6年11月10日（日）18:00～20:00 保健センター2階研修室  
令和6年11月12日（火）18:00～19:50 国府支所2階会議室
2. 出席議員 吉川重雄議長、二宮加寿子副議長、橋本秀彦議員、鈴木たまよ議員  
亀倉弘美議員、玉虫志保実議員、竹内恵美子議員、鈴木京子議員、  
石川則男議員、清田文雄議員、高橋英俊議員 毛利泰輔議員、  
おかみゆき議員、庄子幸太議員
3. 参加人数 保健センター 会場 12名、オンライン2名  
国府支所 会場 16名 総計 30名
4. アンケート結果 別添のとおり

### 5. 報告会における町民からの質問及び意見等

#### 11/10（日）保健センター

##### ○第一部 令和5年度決算報告

- （問）歳入面で、税務課の徴収努力とあるが、住民税をもっとちゃんと取れと言うことか。
- （答）令和5年度は、「収め忘れてはいませんか」というような声掛けを町の方から行うことにより、きちんと支払った方が増え、収納率が上がり、不納欠損が減った。
- （問）区長は多忙。なんでも区長に任せるのではなく、多方面の人材を活用し、分散化を図っていただきたい。
- （答）区長の業務の多さを何とかしたいが、各地区の負担や協力に見合う交付金の増額を来年度予算に要望した。
- （問）広範囲の人材を活用しないと地区の活動が停滞する。区長への依存度が高いことを懸念するが。
- （答）地区の自治会、町内会の区長以外に民生委員、消防団のなり手不足が非常に問題になっている。町と自治会、町内会との話し合いが必要と思うので、要請していきたい。
- （問）人口減少対策と子どもや保護者の満足度向上はどうか。
- （答）子育て世代への手厚い支援として、インクルーシブ遊具の設置、小学校給食の無償化、所得制限なく、18歳までの医療費の無償化を行った。良かったという声を聞くので、満足度が上がったと表現した。人口減少に歯止めがかかっていると町長は言っているが、数字として表れるには至っていない。

## ○第二部 テーマ別グループトーク

### Aグループ<伝わってますか？議会のこと>

- ・防災訓練など町内の行事に来てくれる議員と町内の話をしたりする。こちらから「あそこがどう、ここがどう」と報告する感じ。
- ・議会のことはテレビで放映されているのを見ながら、傍聴には行けないままできたけれど、今度行ってみようと思っている。
- ・以前、陳情で、「町の施設を高齢者団体に無償で貸してほしい」と訴えたことがある。その後、運動教室として無料で借りることができている。その陳情の際に常任委員会がたくさんあるのを初めて知った。
- ・20年前、陳情の書き方を元議員に教えてもらったことがある。普通の言葉じゃだめだということをそれまで知らなかった。
- ・議会だよりを読むくらいだが、賛否結果はしっかり見ている。
- ・地域で陳情したいことがあると地元の議員に相談する。いかに自分たちの意見を議会に持っていったらもらえるか、という視点で見ている。
- ・一般的に、自分の世代には、町議会のことはほとんど伝わっていない。
- ・こども園などいくつかのテーマについては話したりすることもあるけど、議会だよりは特に読んだりしない。
- ・自分から情報収集に行かないと難しい。いまの若者は基本的にSNSで情報収集。新聞も読まない。議会だよりはもっと読まない。媒体としてはほとんど使わないが、周囲の同世代に一人だけ議会だよりを読んでいるという人がいた。
- ・18歳から投票できるようになってから意識が変わったのか、周囲の知人友人は、投票には行くようだが、基本的には期日前投票。インスタでアップしている人も結構いる。投票の理由は、親が言っている人に入れた、名前がひらがなで書きやすいから入れた等。政策がどう社会につながるかわからないから、簡単に選んでしまう。自分は投票前に、ある程度調べるけれど、そこまでやる人はいない。でも、投票に行くだけマシだと思う。
- ・議会や政治に関心を持ってないのは、自分に関係ないと思うからだと思う。
- ・不動川の近くに住んでいる知人が「道が暗くて困っている」という話を誰に相談したらよいのかわからずにいたらしい（議員に話せば動いてくれるということがわからない）。
- ・みんな「町がこうなったらいい」とは思っているけれど、それをどうすればよいのかわからない。どっかで誰かがやってくれているだろうという期待がある。
- ・議会にもっと関心を持ってもらうためには。民生委員は、催事などでパネルを出して活動をアピールしている。みんなに知ってもらいたいという気持ちでやっている。議会もやってもらったらどうか。

- ・県庁では県議の選出区の一覧表を、顔写真とともに掲示している。
- ・住民の方々がお互いに、高齢者から子どもまで、知り合えば、災害時の助け合いにつながる。
- ・防災訓練をお祭りのようにする、イベントのようにするなどはどうか。
- ・国府小の運動会では、校内放送も応援団もすべて子どもたちの手づくりだった。小学校に、町議会が出前授業に行ったり、こども議会をやってはどうか。
- ・静岡県焼津市ではリクリットという町の課題を訴えられるアプリがあって、中学生など暇な時間に町の課題を入力して送信していた。こういうデジタルプラットフォームがあると若者が参加しやすい。

### Bグループ＜聞かせてください 防災のこと＞

- ・南下地区は個人情報を出してもらい、町内独自で津波訓練をしているが、10、20m 級の津波が来たら逃げ場がないことに不安を感じている。
- ・三沢川の堤防の高さの見直しを要望する。
- ・住みたいという人がいても供給できるものがない。価値がある土地が生かされない状態。防災面から考えても高さ 15m 以上のマンションが建てられるように、近隣商業地域の高さ制限、都市計画を見直すことが人口減少対策に役立つと思う。国県への要望をしっかりとやってほしい。
- ・福祉避難所は充実しているのか。

### Cグループ＜あなたにとっての「大磯町」とは？…他なんでも！＞

- ・町民のための議会として反映しているのか。現場の声の要望を拾って欲しい。
- ・町民が提案することを聞き出して考えて議論してほしい。議員さんともっと話したい。
- ・令和 7 年 4 月に施行予定のいじめ防止条例について、時期尚早ではないか。
- ・条例は町民の意見を取り入れるべき。小中学校の道徳教育についても検討してほしい。

### オンライングループ＜テーマはフリー＞

#### 【全体に対して】

- ・町の人口減少対策について、議会としてどこを推進したいか見えてこない。
- ・子育て世代が増えているのか減っているのか数量的なデータがあるとよかった。
- ・フリートークの問いかけのようなテーマ名がわかりにくい。

#### 【広報広聴について】

- ・住んでいるところでは報告会がないので大磯町で報告会があることはうらやましい。
- ・報告会の開催が十分に伝わっていないので、駅前でチラシを配ってはどうか。

【防災について】

- ・台風10号の降雨災害で、防災行政ナビの情報がとてもありがたかった。
- ・台風10号の降雨災害で、雨の情報だけでなく土砂災害の情報があるとよかった。
- ・災害のたびにＪＲが止まるのはどうにかならないか。

【大磯町とは？について】

- ・男女同数議会の歴史が長い議会なので性差別の権利推進を進めてほしい。
- ・女性差別の陳情書が採択されないなど、議論が進んでいないように感じる。

**11/12（火）国府支所**

○第一部 令和5年度決算報告

（問）新庁舎はいつ実現するのか。具体的に町は示して欲しい。

（答）設計施工を一括発注するデザインビルド方式で業者を募集しているところ。引っ越しが完了するのは令和10年度の予定。

（問）ふるさと納税についての大磯町の状況は。

（答）ふるさと納税は、予算決算上は一般寄附金に含まれる。令和5年度は790件3,800万円の寄付があり、令和4年度の20%増。返礼品に986万円。宣伝手数料に262万円、発注手数料、送料が150万円。町民税が1億1000万円減るが、75%が地方交付税で国から入り、2,800万の税収減が、1,419万円の黒字になっている。

（問）町長が町政報告会で旧吉田邸の管理費が年間1,000万の赤字と言っていたが。

（答）生涯学習課の事業費に含まれ、人件費、光熱水費などの維持管理費が毎年1,000万円以上固定費としてかかっている。

（問）マイナンバー制度による町職員の業務負担は。

（答）ＡＩの導入で、会議録作成については、業務軽減された。マイナンバー制度は国の事業だが、交付の窓口は大磯町、マイナポイント付与の際の人件費は国から手当てされるが、他はない。

（問）三沢川の出口の樋門工事が落札されたが、平塚市と費用負担の割合を考えては。

（答）Ｃグループで答える。

○第二部 グループによるフリートーク

Ａグループ＜伝わってますか？議会のこと＞

- ・新庁舎建設の予算について、令和8年に完成予定だったのがなぜそんなにずれ込んでいるのかわからない。議会での話し合いはどんな方向で進めているのか。延び延びになった中で、それならば町役場と消防庁舎と一緒に建てればいいのに、と素朴に思ってしまう。二転三転したのが腑に落ちなかった。
- ・こども園について、議会のせめぎ合いも承知しているが、前町長の判断に議会が

偏っているのではないかという印象。それによって時間がかかり過ぎているのではないか。

- ・旧吉田茂邸について、年間 1,000 万円の赤字を出しているというが。
- ・明治記念大磯邸園について、国の施設と言いながら町の管理業務が生じるが。
- ・ざっくばらんに話せる機会があればよいのだけど、わからないままだと「何やってるんだ」となってしまう。議員の賛否について、なぜそうなったの？という理由を聞きたい。
- ・報告会や広報紙で、まとめだけ聞いても意味がない。途中経過を知りたい。
- ・ふるさと納税について、産品を増やす努力をされているようだが、大磯らしいポリシー、ストーリーを大事にしてほしい。簡単に増やすのがよいことなのか？
- ・綾瀬市議会では、議会主催の議会報告会はやっていない。議会だよりも事務局が作ったものを議会がチェックするだけなので、今回の大磯町議会のような報告会を開いた場合、議員は何も答えられないと思う。

#### Bグループ＜聞かせてください 防災のこと＞

- ・6mの堤防が砂で埋まっており、津波が来たら、全滅。
- ・防災マップを見ると、いつとき避難場所があるが、どの災害に対応した避難場所なのかわからない。
- ・各地区の自主防災会でいつとき避難場所や高台避難場所を決めている。海拔18メートル以上と設定して、避難訓練の際は指定避難所ではなく高台に行くという避難訓練をするべきと思うが、国府中の坂は、お年寄りや登れないので、リヤカーなどを用意する必要がある。
- ・要援護者の避難について。個人情報なので、区長や民生委員以外には要援護者であることを知られないようにしているが、本来は、近所が助けるのが望ましいと思う。
- ・防災無線が途切れて聞き取れない。
- ・葛川の水を海に流すために西にも流れるようにして川の氾濫を防ぐ方法も考えられる。
- ・ボランティアセンターのようなものが、状況を把握し、中心になって手伝いの割り振りなどを行う形が望ましいと思う。
- ・災害に対して、3日分の食料、水は用意したい。備えについての意識向上は今後も続けていくことが大事。

#### Cグループ＜あなたにとっての「大磯町」とは？…他なんでも！＞

- ・三沢川樋門整備の水門コントロール、夜間に水位が上昇した際の危機管理はどうする？
- ・議会だよりの議員の一般質問の写真や文責についてどうやって選んでいるのか。
- ・国府と大磯が一緒になった70周年を迎え記念事業などは行わないのか。

- ・公園を安全に使うため、遊具の損傷や街灯の老朽化、植栽の管理を徹底してほしい。
- ・人口減少対策について、空き家の再利用や移住対策が必要ではないか。

## 6. 反省・総括について（11/18 全協での意見）

- ・開催時間について、大磯地区が日曜の夜、国府地区が平日の夜ということで、国府地区は多くの人に参加したが、大磯地区は例年に比べまばらだったことを考える必要がある。
- ・日曜の夜は、学校や仕事で次の日の準備もあり、参加が難しいとの御意見が町民からあった。
- ・春の報告会はまだ明るい時間帯だが、秋のこの時間帯は相当暗くなることも考慮を。
- ・国府地区は、国府以外の人が4～5名いたが、平日を狙って来られたと理解する。
- ・イベントの多い月だったので、その辺も加味して、時間帯や日程を検討する必要がある。
- ・子育て世代の方から、日曜日の夕方は家族と過ごしたいので無理、というお話を頂いた。
- ・フリートークは別にしても、決算の報告は聞きたいので、録画を後で観られるような体制を今後検討してもらいたい、という御意見を町民から頂いた。
- ・開催日時については、直接私たちが耳にすることとアンケートがまとまったら活かしていきたい。
- ・初めてオンラインでフリートークに参加したが、うまく音声がつながらない状況もあったので、マニュアルか何かあるとよい。
- ・フリートークは前回より時間増とした。それでも議論が止まらないようだったが、内容としてはよかったと思う。
- ・決算の報告は大分はしょってやったが、逆に短か過ぎたとか、分からなかったとか意見があれば聞きたい。
- ・フリートークで「伝わってますか議会のこと」に参加したが、かなり貴重な意見を頂いた。
- ・それらの内容を議会改革の小委員会のほうに下ろして議論していただきたい。
- ・議会や報告会に来られなかった人、来ることができない人のために、YouTube配信して欲しいという声があった。ぜひ、できるようにしていきたい。
- ・参加された町民の方から、今回行われたことなどを議会だよりなどで報告をしっかりとして欲しい、との声をいただいた。